

# 「ことわざ」

次のことわざの  
意味を考えよう！

## 答え

どんなに優れた人物でも、失敗することはあるというたとえ。

弘法＝弘法大師空海のこと。  
優れた人物のたとえ。



## 答え

物事のささいなことばかり  
注意していると、全体を見  
失うということ。

## 答え

身近なことほど、案外気  
づきにくいものだ。



第1問

弘法も筆の誤り



第2問

木を見て森を見ず



第3問

灯台下暗し



第4問

初心忘るべからず



## 答え

物事に慣れてなまけたりすることがないように、それを始めた時の心構えや決心をわすれないようにするべきだということ。

第5問

帯に短したすきに長し



## 答え

物事が中途半端で、何にも使えず、役に立たないこと。

第6問

石の上にも三年



## 答え

つらくて大変なことでも、がまんや努力し続ければ、いつか成功する。

第7問

光陰矢のごとし



## 答え

月日がたつのがとても早いことのたとえ。



第8問

まかぬ種は生えぬ



## 答え

結果があるからには必ず原因がある。努力なくして良い結果は出ないということ。

第9問

転ばぬ先の杖



## 答え

失敗しないように、あらかじめ十分に用心しておくこと。また、そのような用心が大切だということだ。

第10問

二階から目薬



## 答え

思うようにならなくてもどかしいこと。まったく意味がないこと。

第11問

習うより慣れろ



## 答え

物事は、人や本から教わるよりも、体験として実際に経験したほうが身につく。

第12問

餅は餅屋



## 答え

物事は専門家に任せるのが一番である。

第13問

情けは人のためならず



## 答え

人に親切にすると、巡り巡って自分にいい報いがかえってくるので、自分のためになる。

※注意:「情けをかけるとその人のためにならないからかけないほうがよい。」は間違いです。

第14問

鬼に金棒



## 答え

もともと強い存在が、何かを得ることでさらに強力になることのたとえ。

第15問

泣きっ面に蜂



## 答え

不運なことの上に、さらに不運なことが続けて起こること。

第16問

玉磨かざれば光なし





## 答え

才能や素質があっても、努力しないと本当の力は発揮できない。

第17問

河童の川流れ



## 答え

何かの名人であっても、油断したりして、時には失敗するということ。

第18問

猿も木から落ちる



## 答え

どんなに優れた人物でも、失敗することはあるというたとえ。

第19問

急がば回れ



「弘法も筆の誤り」「河童の川流れ」と同義

## 答え

危険な近道を通るより、遠回りでも確実な道を通る方が早く目的地に着く。

第20問

捕らぬ狸の皮算用

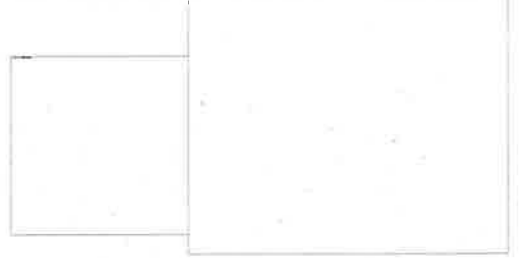


## 答え

まだ決まっていないことを当てにせず、計画を立てたり、利益を考えたりすること。

第21問

塵も積もれば山となる



## 答え

小さなことも継続すれば膨大なものとなる。だから、小さなこともおろそかにするべきではない。

第22問

紺屋の白袴

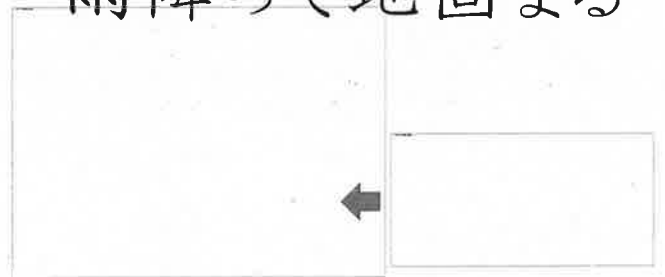


## 答え

自分の技能は他人にばかり使っていて、自分のことには使われていないことのとえ。

第23問

雨降って地固まる



## 答え

争い事や悪いことが起こった後には、かえって物事がうまくいくこと。

第24問

月とすっぽん



## 答え

二つの物が、形は似ていても、比べられないくらいに差があることのとえ。

「雲泥の差」「提灯に釣り鐘」と同義

第25問

医者の不養生

--	--

## 答え

人には立派なことを言っておきながら、自分は、それを実践していないことのとえ。